

平成27年度 第14回教育研究審議会議事要旨

I. 日 時：平成28年3月17日（木）15時00分～17時40分

II. 場 所：尾道市立大学 E棟1階 120会議室

III. 出席者 中谷理事長、菅理事、川田理事、塩川理事、井上理事（事務局長）、
菅経済情報学部長、稲田芸術文化学部長、藤澤日本文学科長、
荒井教務委員長、信木学生委員長、邵国際交流センター長、
小野広報委員長

陪 席：大下事務局次長、石井総務課長、土岸企画広報室長補佐、神田学務課長

IV. 議事要旨（案）の確認

事務局から、平成28年3月2日に開催した第13回教育研究審議会議事要旨（案）について説明があり、原案のとおりとすることが確認された。

V. 議 案

1. 平成28年度 一般後期入学試験合格判定について

標記議題について、各学部・学科長から、標記議題について、合格者判定資料により合格者判定結果の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（1）経済情報学部経済情報学科

一般後期の定員は30名で、志願者509名のうち、184名（うちAコース108名、Bコース76名）が受験し、63名（うちAコース34名、Bコース29名）を合格と判定した。

（2）芸術文化学部日本文学科

一般後期の定員は5名で、志願者136名のうち54名が受験し、11名を合格と判定した。

（3）芸術文化学部美術学科

一般後期の定員は15名で、志願者119名のうち61名が受験し、15名を合格と判定した。

2. 平成29（2016）年度 入学者選抜要項（案）について

標記議題について、入学者選抜実施委員会副委員長から、資料により、経済情報学部推薦入試（一般）及び日本文学科の選抜内容の変更、並びに、記載項目を推薦入試、一般入試の順に改め、従来表を集約して掲載する等の説明があり、審議の結果、一部字句等修正追加のうえ、承認された。

3. 教員の昇任について

標記議題について、経済情報学部長並びに芸術文化学部長から、資料により説明があり、審議の結果、2名の昇任について原案のとおり承認された。

4. 大学院学則の一部を改正する規程（案）及び大学院授業科目履修規程（案）について

標記議題について、事務局から、資料により、学則中、大学院授業科目及び

単位数、教育職員免許の項目を削除し、これを新規に制定する大学院授業科目履修規程で定める旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

5. 大学授業科目履修規程の一部を改正する規程（案について）

標記議題について、事務局から、資料により、各学部学科における科目名称の記載変更、および新規設置科目の記載追加、削除科目の記載削除等にかかる説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6. 国立嘉義大学（台湾）応用経済学科からの編入学生の単位認定について

委員から、標記議題について、資料により、運用事項の改正により編入学生の単位認定（個別認定および一括認定）を実施し、認定上限60単位まで承認する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

7. 平成27年度 学長賞（追加・学術研究活動分野）について

委員から、標記議題について、資料により、情報処理学会第78回全国大会で学生奨励賞を受賞した学生（4年生）を追加して推薦する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

VI 報告事項

1. 尾道市立大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領（案）について

委員から、標記事項について、資料により説明があった。なお、対応マニュアルは現在作成中であり、次回の教育研究審議会場で示す旨の報告がされた。

2. 平成28年度グローバル人材育成事業実施協議会（大学間連携共同教育推進事業）について

事務局から、標記事項について、資料により説明があり、事務局が福山大学から福山市立大学へ交代し、事業費も県費補助金の終了に伴い、福山市が申請した国交付金を活用して実施される旨の報告がされた。

3. 推薦入学試験の配点公表のあり方について

前回の教育研究審議会でも課題となった標記事項について、経済情報学部が検討協議中、日本文学科が配点変更を実施のうえ公表可能、美術学科が調査書評点化を中心に検討中の旨、各学部学科長から状況報告がされた。

委員長より、経済情報学部に対し、早急に試験配点の具体的内容等を決定し、決定内容を文書で提出する旨の指示をされた。

以上